

DAフォーラム発表用パワーポイント

東京都練馬区光が丘における地域資料の デジタルアーカイブ：現状の取り組みと今後 の構想

2021.12.19 菅原みどり
(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修士1年・光が丘歴史博物研究会)

①歴史的に特異性のある光が丘地域

動画で見る光が丘の特異性

https://drive.google.com/file/d/1C89pa_FMbyYz89sjjsE6QtKD6LkIXsq/view?usp=sharing

紹介動画を制作。(1分ver. 4分ver.なども)

※1分ver.は、練馬区立区民協働交流センター主催「練馬つながるフェスタ2022」内の企画「つながる動画2022」で公開



なぜ東京都練馬区「光が丘」のデジタルアーカイブ化？

①歴史的に特異性のある光が丘地域

→農地～特攻隊の飛行場～米軍家族宿舎～公園と団地と商業地の現在

②地域住民が光が丘の歴史を知る機会が少ない

→団地完成後に移り住んだ人が中心、高齢化、小学校教育など

③団地の建物老朽化等により、地域全体が今後また大きく変化する可能性

→12,000戸の共同住宅、軒並み築35～40年

②地域住民が光が丘の歴史を知る機会が少ない

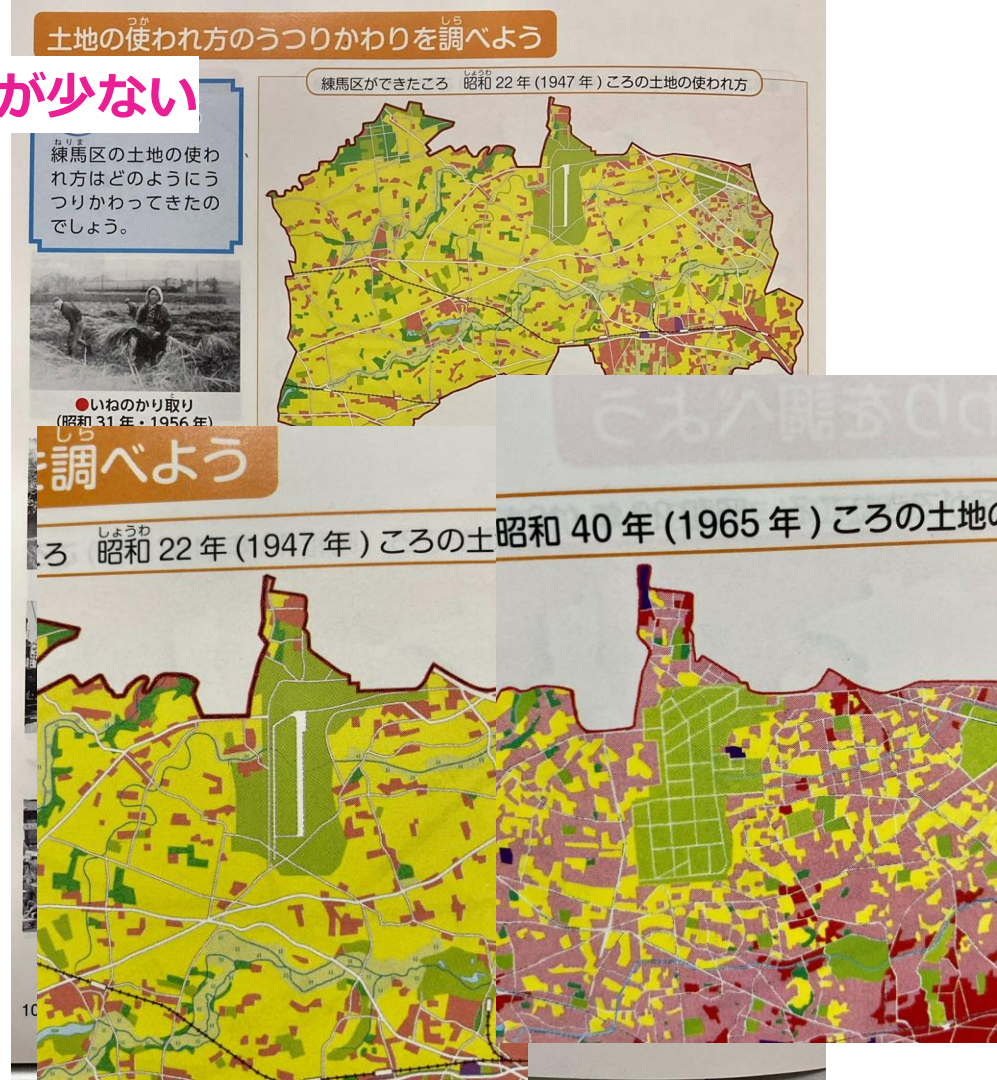
■小学校3年生社会科副読本「わたしたちの練馬区・東京都（3年生）」練馬区教育委員会、2020年

■→1947年は成増飛行場跡地が接収され、グラントハイツが作られる直前。飛行場の滑走路が見て取れる。

→1965年はグラントハイツ時代。

住民の中には飛行場や米軍家族宿舎時代を知らない者も多く、当地の小学校社会科の授業でも3クラス中1クラスは成増飛行場、グラントハイツについて触れなかったというアンケート結果がある。

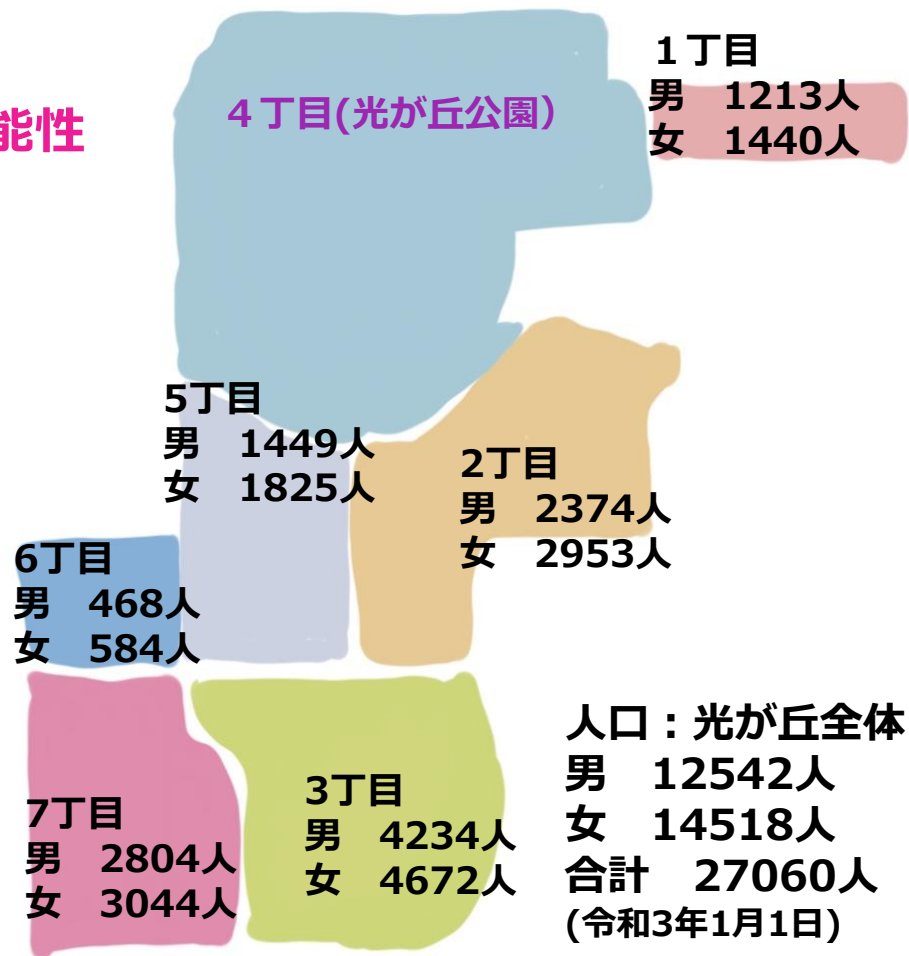
(2021年11月、練馬区立光が丘春の風小学校にてアンケートを実施)



③団地の建物老朽化等により、 地域全体が今後また大きく変化する可能性

■光が丘パークタウン(光が丘団地)

- ・ 12000戸、27000人が住む
- ・ 1983～1992年に光が丘パークタウン入居完了
→築約30～40年、あと30年もつのか
- ・ 大規模修繕工事など(要合意形成)
- ・ 病院、清掃工場は老朽化等により建替え、移転



光が丘歴史博物研究会 の活動・研究

編集

光が丘
デジタル
アーカイブ

光が丘デジタルアーカイブ

@D.A.Hikarigaoka - ローカルウェブサイト

+ ボタンを追加

その他

宣伝する

Q

...

設定

SNSでの活動

Twitter: @hikarigaokada

TwitterURL: <https://twitter.com/hikarigaokada>

FacebookページURL:

<https://www.facebook.com/D.A.Hikarigaoka/>

5月18日(国際ミュージアムデー)に開設。

活動PR、連絡窓口の場

数日に1度ペースでの更新

※今後、資料公開の場は別に必要と考える



コロナ禍の光が丘を記録

クラスターが発生したり、屋外駐車場にPCR検査用プレハブ小屋を建てた光が丘病院や「夏祭りや新年交流会など町会行事が開催できない中、こいのぼりだけでも楽しんでいただければ」と掲揚された光が丘6丁目のこいのぼりなど。

今の主な課題と 今後の予定

■どのように資料を公開していくか

- ・HP開設をするべきか、既存のブログやSNS上で良いのか

- ・活用しやすい公開の仕方とは？

■活動の継続

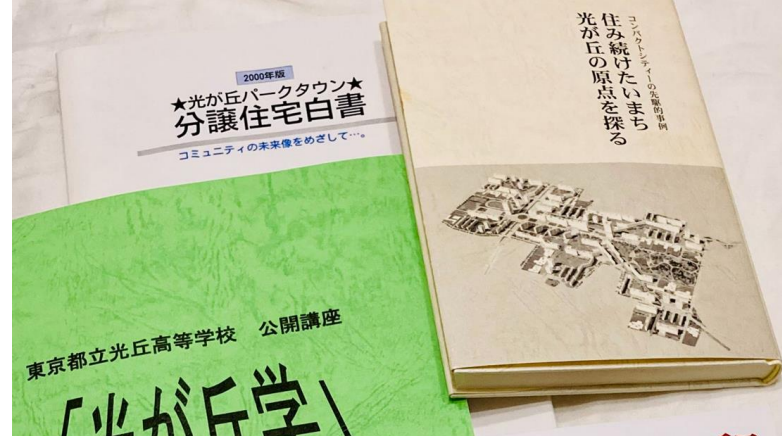
- ・人の手や金銭面など

■今後の予定

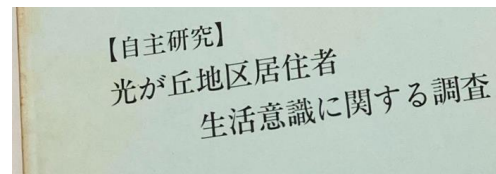
- ・練馬区で活動する自治会やNPOなどの活動を知ってつながる「つなフェス」2022へ参加

- ・オーラルヒストリー収集の継続

参考文献



- 「住み続けたいまち光が丘の原点を探る」、青柳幸人・井上十三男、光が丘新聞社、2006年
「光が丘学」、加藤竜吾、自費出版、2004年
「光が丘 昭和時代の地図帳」、山之内光治、自費出版、2008年
「改訂増補 光が丘の地歴図集」、山之内光治、自費出版、2007年
「練馬区独立三十周年記念『練馬区史(歴史編)』」、練馬区史編さん協議会、練馬区、1982年
「光が丘パークタウン分譲住宅白書」、(株)すまいる情報光が丘、2000年
「【自主研究】光が丘地区居住者生活意識に関する調査」、(財)東京都市科学振興会、1987年
「板橋区赤塚新町の昭和」、クラブ・ジャビー、自費出版、2017年
「わたしたちの練馬区・東京都(3年生)」練馬区教育委員会、2020年



昭和
会／赤塚／田柄

